



Setsunan University International Center

国際交流 Newsletter Spring 2017



2月7日に行われた短期留学生の修了証書授与式

国際交流センターからNewsletter第5号発刊のごあいさつ

摂南大学国際交流センターでは、一般学生向けに海外での語学研修や文化体験の機会を提供するとともに、留学生のために奨学金獲得や留学生サポーター制度導入など、きめ細かな生活支援を行い、キャンパスの国際化を図るべく日々努力しています。

今号では、2017年度海外派遣プログラムの概要と、昨年度実施した留学生との交流イベントなど国際交流活動の一端をご紹介いたします。

2017年度海外派遣プログラム概要

夏期海外派遣プログラム一覧

タイプ	スタートアップ(文化体験)型				目的設定型	
プログラム	韓国文化体験	タイ文化体験	台湾文化体験	メキシコ文化体験	インドネシア研修	カナダ語学研修
派遣先	大田大学校	泰日工業大学	南台科技大学	グアナファト大学	LIA 外国語大学 ジャカルタ企業	バンクーバー ・インターナショナルカレッジ
時期	8月中旬～ 約3週間	8月中旬～ 約2週間	8月中旬～ 約2週間	8月中旬～ 約2週間	8月中旬～ 約2週間	8月20日(日)～ 9月3日(日)
内容	初級韓国語 韓国文化体験 学生寮宿泊	学生交流 文化体験 ホテル宿泊	初級中国語 文化体験 学生寮宿泊	初級スペイン語 文化体験 ホームステイ	初級インドネシア語 現地企業訪問 学生寮宿泊	習熟度別英語研修 アクティビティ OP ホームステイ
対象学生	寝屋川キャンパスの学生				外国語学部以外の 2年次生以上	

春期海外派遣プログラム一覧

タイプ	スタートアップ(文化体験)型	目的設定型	
プログラム	台湾中国語研修	フィリピン語学研修	リーダーシップ・チャレンジin サイパン(UNGL研修)
派遣先	淡江大学	セブ医科大学 ESL センター	サイパン 小中学校
時期	3月上旬日曜～2週間	3月上旬日曜～2週間	2月下旬～約10日間
内容	習熟度別中国語研修 文化体験、学生寮宿泊	習熟度別マンツーマン英語研修 ボランティア体験、学生寮宿泊	小中学校訪問、教育実習体験 ホームステイ
対象学生	寝屋川キャンパスの学生	全学生	全学生

※注意：今号で紹介する内容は、2017年3月10日時点での情報です。詳しくは国際交流センターに確認してください。

★スタートアップ(文化体験)型

Korea 韓国文化体験(大田大学校)

- ・派遣期間：2017年8月中旬～約3週間
- ・参加費用：6万円程度(渡航費・宿泊費・食費を含む)
- ・募集人数：学園3大学合計30人(寝屋川キャンパスの学生対象)
- ・概要：午前中は韓国語の基礎を、午後は韓国文化を学び、実際に体験するプログラム。現地学生との交流、1泊2日のホームステイあり。学生寮宿泊。

参加学生の声

パディと毎日交流できたことで初めは内容が聴き取れなかった韓国語も最終日には内容が理解できるようになり、言語を学ぶ楽しさを実感できました。



民族衣装を着て記念撮影

Thailand タイ文化体験(泰日工業大学)

- ・派遣期間：2017年8月中旬～約2週間
- ・参加費用：7万円程度(渡航費・宿泊費を含む)
- ・募集人数：大阪工業大学と合わせて10人(寝屋川キャンパスの学生対象)
- ・概要：他大学の学生と共に、タイの歴史文化を学び、また環境保全について野外体験も交えて学ぶプログラム。現地学生との交流あり。ホテル宿泊。

参加学生の声

バンコクの町を歩いていると、寺院が点在している一方で、近代的な高層ビルが立ち並んでいました。その国の風土、時代にあった建築物を見て日本との違いを知り、建築について考えることができました。



バンコクの寺院でタイの学生と記念撮影

Taiwan 台湾文化体験(南台科技大学)

- ・派遣期間：2017年8月中旬～約2週間
- ・参加費用：13万円程度(渡航費・宿泊費を含む)
- ・募集人数：10人(寝屋川キャンパスの学生対象)
- ・概要：中国語の基礎を学びながら、地元学生との交流や文化施設訪問、伝統工芸製作などを通じて多様な文化を体験。週末にホームビギッド体験あり。学生寮宿泊。

参加学生の声

初步の中国語のほかに、陶芸や原住民族ダンス、藍染めなどを体験したり、安平や台中などに出掛け、台湾の歴史や文化を学びました。台湾人は日本語も英語もできる人が多く、私も帰国してから英語や中国語をもっと勉強しようとモチベーションが上がりました。



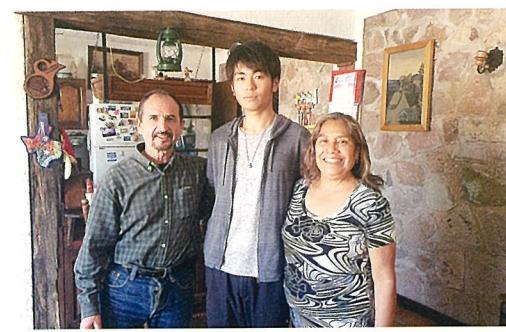
藍染体験で作品を披露する参加学生

Mexico メキシコ文化体験(グアナファト大学)

- ・派遣期間：2017年8月中旬～約2週間
- ・参加費用：32万円程度(渡航費・宿泊費・食費を含む)
- ・募集人数：10人程度(寝屋川キャンパスの学生対象)
- ・概要：世界遺産にも登録されている美しい建築で有名なグアナファトの一般家庭にホームステイし、メキシコ文化をどっぷり体験。初級スペイン語の授業を受講。

参加学生の声

ホームステイ先の家族と話した時、何度も聞き直しても何度も言い直してくれ、本当に温かく迎えてくれた優しさがとても嬉しかったです。日本では学べないことをたくさん経験しました。



ホストファミリーと記念撮影

Taiwan 台湾中国語研修(淡江大学)

- ・派遣期間：2017年3月上旬～2週間
- ・参加費用：18万円程度(渡航費・宿泊費を含む)
- ・募集人数：1人から参加可能(寝屋川キャンパスの学生対象)
- ・概要：習熟度別の中国語レッスンを受講。台北市内の校外研修、学生スタッフによるサポートあり。学生寮宿泊。



参加学生の声

中国語以外でも、文化の授業で台湾や中華圏の文化を学びました。校外研修では台北の名所を見て歴史を学び、台湾についてもよく知ることができました。



校外研修先で記念撮影をする学生スタッフと参加学生

★目的設定型

Indonesia インドネシア研修（LIA 外国語大学+ジャカルタ企業）

- ・派遣期間：2017年8月中旬～約2週間
- ・参加費用：25万円程度(渡航費・宿泊費を含む)
- ・募集人数：10人程度(寝屋川キャンパスの学生対象)
- ・概要：ジャカルタのLIA 外国語大学で初步のインドネシア語を学習。宿泊は大学の寮。日本語を学ぶインドネシアの学生との交流会もあり。摂南大学のOB・OGが働くインドネシアの日系・現地企業や経済団体、現地日本人学校などを訪問。

参加学生の声

企業見学プログラムでは、将来インドネシアで働いてみたい、こんな環境で働いてみたいなど、このプログラムを通して考え方方に少し変化が出たように感じました。



LIA 外国語大学の前で記念撮影をする参加学生と大学関係者

Canada カナダ語学研修(バンクーバー・インターナショナルカレッジ)

- ・派遣期間：2017年8月20日(日)～9月3日(日)
- ・参加費用：約42万円(渡航費・宿泊費・食費を含む)
- ・募集人数：10人(寝屋川キャンパスの外国語学部以外の学生対象)
- ・概要：バンクーバーの語学学校で英語を集中的に受講。授業はレベルに応じて6段階のクラス分け。ホームステイし、英語を使わなければならない環境に一日中浸る。
- ・単位認定：「海外語学研修」として2単位認定(外国語学部以外の2年次以上)

参加学生の声

この研修を通して学んだことは3つあります。1つ目は会話を続けること。2つ目はプレゼンテーションの仕方。3つ目はホストファミリーとの接し方です。帰国してから、もっと英語力を身につけたい、もっと外国人と会話が取れるようになりたい気持ちが強くなりました。



修了証を手にして記念撮影

Philippines フィリピン語学研修(セブ医科大学付属 ESL)

- ・派遣期間：2018年3月上旬～2週間(日曜出発、土曜終了)
- ・参加費用：約21万円(渡航費・宿泊費・食費を含む)
- ・募集人数：1人から参加可能
- ・概要：フィリピンで評価の高い医科大学の環境で、受講者のレベルに合わせマンツーマンで英語を集中受講。医療英語コースと一般英語コースを選択可能。医大生との交流やボランティア活動なども体験できる。学生寮宿泊。
- ・単位認定：「海外語学研修」として2単位認定(薬学部2年次以上)

参加学生の声

CDU ESLの先生は、とても親切で丁寧に英語を教えてくれました。この研修を終え、卒業後に世界に羽ばたく薬剤師になりたいという願望がさらに強くなりました。



ボランティア活動で現地の子供たちと

Saipan リーダーシップ・チャレンジ in サイパン(UNGL研修)

- ・派遣期間：2018年2月下旬～約10日間
- ・参加費用：約13万円(渡航費・宿泊代・食費を含む)
- ・募集人数：1人から参加可能
- ・概要：北マリアナ諸島の小中学校で、教育実習生として日本語や日本文化について英語で授業を行う。他大学の日本人大学生と協力してイベントを企画し、リーダーシップについて考える。また、ホームステイ先での交流を通して、異文化理解力を身につける。

参加学生の声

この研修に参加して、自分の弱さに気が付き、それを克服することができました。他大学の学生と一緒に参加することで、刺激を受けとても実りのある研修になりました。



サイパンの海をバックに記念撮影

2016年4月以降の活動(ダイジェスト)

4月

○ 交換留学生が八木学長を表敬訪問 4/11

4月11日(月)、2016年度交換留学生5人が八木学長を表敬訪問した。

今年の留学生は、韓国の大田大学校から3人、台湾の南台科技大学から1人、同じく台湾の大葉大学から1人を迎えた。

八木学長からの励ましの言葉の後、留学生たちは、緊張した面持ちで、自己紹介や留学の目的を発表した。摂南大学国際会館で生活しながら、日本語の授業を中心に受講し、日本語能力検定1級を目指して勉学に励むことになる。



新しく迎えた交換留学生(後列)

○ 留学生ウェルカムパーティーを開催 4/18

4月18日(月)、恒例の留学生ウェルカムパーティーを開催した。

今年度は正規留学生として、ベトナム、タイ、中国、ニュージーランドから10人の新入生とインドネシアから2年次編入生1名を迎えたほか、交換留学生として韓国・大田大学校、台湾・南台科技大学と大葉大学から5人、またタイ・泰日工業大学の学生10人が来日しており、全体で10カ国37人が本学で学んでいる。

パーティーでは、出席いただいた各学部の教員や留学生サポーターの学生と楽しく歓談し、これから始まる留学生活に夢を膨らませていた。



すっかり打ちとけた留学生とサポーター

○ 2015年度海外派遣・UNGL研修成果報告会を開催 4/21

4月21日(木)、寝屋川キャンパス1号館1階のプレゼンテーションロビーで、韓国・大田大学校への長期交換留学生2人、フィリピン語学学校への春期海外派遣プログラムに参加した学生2人、またUNGL(大学間連携共同教育推進事業)プログラムに参加した学生延べ15人が成果報告会を行った。

成果報告会では、プログラムに参加した各学生が、現地での活動の様子や体験談を紹介する写真入りのパワーポイントを作成して、プログラムごとに発表を行った。

発表後に八木学長から、「今後も人との出会いを大切にし、色々なことに挑戦してほしい」と発表した学生たちに励ましの言葉があった。

今後も学生の皆さんとのプログラムへの積極的な参加に期待します。



発表した学生と学長、教職員

4月～5月

○ 泰日工業大学の学生を大阪工業大学と合同で受け入れ 4/15～5/28

4月15日(金)、学園の協定校であるタイ・泰日工業大学の留学生10人を本学と大阪工業大と合同で受け入れた。同大学は、「タイ国の人材育成、産業技術情報の普及・促進、日・タイ友好」を目的として、2007年にバンコク市に創立された工科系の大学である。

前半は本学で日本語を学び、後半は姉妹校である大阪工業大学で「ものづくり」に関する研修を受講するほか、日本文化を体験したり、工場見学などの校外研修に参加した。また、本学の「ふれあいキャンプ」にも新入生たちと一緒に参加した。

まず、4月20日(水)には、本学の交換留学生5人と一緒に、今井町(奈良県橿原市)、三輪そうめん山本麵ゆう館(奈良県桜井市)を訪問した。



見学した工場の前で記念撮影

6月

○ 交換留学生が見学旅行に参加 6/2～3

6月2日(木)～3日(金)、交換留学生4人が見学旅行で岐阜県と愛知県を訪れた。この見学旅行は文部科学省の教育関係共同利用拠点として認定を受けている大阪大学日本語日本文化教育センターが主催するもので、各大学から留学生約200人が参加した。

1日目は、岐阜県の郡上八幡に行き、昔ながらの街並みを散策したり、近くの神社を訪問したりした。郡上八幡は食品サンプルの製造で有名な町で、工房で実際に食品サンプルを作る体験もした。

夜は下呂温泉の旅館に泊まり、夕食に日本の伝統的な和食(懐石料理)を食べた。

翌日は、愛知県犬山に行った。犬山城の近くにある三光稻荷神社では、ざるにコインを入れて洗うとお金持ちになるという言い伝えがあると聞いて、留学生たちもやってみた。



下呂の合掌村の看板の前で記念撮影

○ 南台科技大学の国際交流センター長らが学長表敬、就職部を訪問 6/24

6月24日(金)、台湾・南台科技大学の鄭国際交流センター長、日本語教員の鄧副教授、キャリアセンター主任の陳副教授が来学し、学長表敬した。

南台科技大学は、本学と協定を結んでおり、相互に交換留学生を送ったり、同大学の夏期の短期プログラムに本学の学生が参加したり、本学の提供する短期プログラムに同大学の留学生が来たりしている。

当日は、学長表敬の後、キャリアセンター長のたっての希望で、就職部を訪問。就職部長、就職課長らと日本の就職事情、留学生の就職状況について、意見を交換した。



八木学長と南台科技大学の皆さん(前列)

7月

中国・東北師範大学学長が学長表敬 [7/21]

7月21日(木)、東北師範大学大学院(中国・吉林省)の居学長、李国際交流課長、西村国際交流課中日センター長と本学に紹介していただいた彦前氏の4人が学長表敬のため来学した。

東北師範大学は人文学院は9学部48学科で構成され、外国語学部、経済学部、薬学部、看護学部など本学と似た学部構成であり、外国語学部日本語学科では、約300人の学生が日本語を勉強している。この夏には約200人の留学生を2週間から2ヶ月間受け入れる予定。

既に実施している短期のプログラムへの参加など、可能なことから始めたいと、双方の思いが一致した。



居学長(前列中央)と関係者

2016年度夏期海外派遣プログラムの結団式を実施 [7/22]

国際交流センターが実施する2016年度夏期海外派遣プログラムの結団式と懇親会が7月22日(金)に寝屋川キャンパスで行われた。

2016年度夏期海外派遣プログラムは、文化体験プログラム(韓国・大田大学校、タイ・泰日工業大学、メキシコ・グアナファート大学、台湾・南台科技大学)、語学研修(バンクーバー・インターナショナル・カレッジ)、の5コースに26人の学生が参加した。

結団式では八木学長をはじめ先生方が参列する中、学生らはそれぞれのプログラムに参加する意気込みを発表した。八木学長は、本学が国連アカデミック・インパクトの参加校であることから、国連の世界人権宣言に触れられ、「様々な悲しいテロが起きている今だからこそ、皆さんには海外プログラムを通して、国際理解の基本である違いを認め合う多様性を学んでほしい」と激励の言葉を述べた。



結団式に出席した参加学生と学長、教職員

ベトナムからの日本留学ツアーを受け入れ [7/25~26]

7月25日(月)、26日(火)の2日間、ベトナムからの日本留学ツアーを受け入れた。経済発展が著しいベトナムでは、教育への関心が高まり、留学希望者が急増している。今回は、日本留学に関心があるベトナムからの留学ツアーを受け入れ、日本の教育を見学し、体験する機会を提供した。

日本留学ツアー参加者は、本学での日本語の基礎レッスン、本学園の設置学校である常翔学園高校への訪問・交流のほか、摂南大学PBLプロジェクト「紙芝居ボランティアを通した社会貢献」の紙芝居プログラムや留学生サポーター主催の日本文化体験プログラム(書道)への参加を通して、日本の教育や文化への理解を深めた。



書道の作品を披露するツアーの人たち

中国・常州大学の学生15人が経済学部で研修 [7/26~8/3]

7月26日~8月3日まで、中国・常州大学の学生15人を研修生として迎えた。このプログラムは、同大学からの要望を受け、国際交流センターと経済学部が協力して実現したもの。

キャンパスツアー、盆踊り体験、日本語授業、在籍留学生との懇談と充実したプログラムで、学長表敬も行い、日本語学科の学生も他専攻の学生も皆、日本語で学長に挨拶をした。

研修旅行では、朝日新聞社とインスタントラーメン発明記念館を訪れた。

後半は経済学部で、日中の経済的な諸問題について、経済学部の4人の教員から講義を受け、経済学部のゼミ生とワークショップを行い、経済について話し合うだけではなく、親睦を深めた。



経済学部の学生とのワークショップ

7月~8月

サマープログラムの留学生が校外研修 [7/22、8/3]

7月21日(木)から8月8日(月)まで、サマープログラムに南台科技大学からの留学生3人を受け入れているが、その一環として、7月22日(金)に奈良、8月3日(水)に宇治に校外研修を行った。

奈良では、興福寺、春日神社、東大寺などを訪れ、神社の社殿の美しさや南大門、大仏の壮大さに見とれていた。また、奈良公園の鹿とのふれあいに興奮した様子だった。

宇治では、世界文化遺産「平等院」及び「宇治上神社」と、宇治市営茶室「対鳳庵」を訪れた。対鳳庵では裏千家の先生のお点前による薄茶をいただき、留学生たちは、慣れない正座に足をしごれさせながら、前に学習した抹茶のいただき方を緊張した面持ちで実践した。昼食には茶そば、デザートには「今まで食べた中で一番おいしい」という抹茶ソフトも食べて、宇治を大満喫した一日だった。



宇治の平等院をバックに記念撮影

9月

秋からの交換留学生を迎える [9/28]

9月28日(水)、秋からの交換留学生が八木学長を表敬訪問した。

秋からは、台湾・南台科技大学から1人、中国・常州大学から3人、タイ・泰日工業大学の卒業生1人の留学生を新たに迎えた。

学長の歓迎と激励の言葉の後、留学生たちは緊張した面持ちで、まだ、たどたどしい日本語で学長に挨拶をした。

留学生たちは、春から入学している仲間とともに、摂南大学国際会館で生活しながら、日本での留学生活を開始した。



秋からの交換留学生ら(後列)

■ 10月

● 夏期海外派遣プログラム成果報告会を実施 [10/8]

10月8日(土)、2016年度夏期海外派遣プログラムの成果報告会を行った。国際交流センター主催の夏期プログラムの文化体験プログラム(韓国・大田大学校、タイ・泰日工業大学、メキシコ・グアナファト大学、台湾・南台科技大学)、語学研修(バンクーバー・インターナショナル・カレッジ)の参加学生が発表した。これにUNGL(大学間連携共同教育推進事業)プログラム(学生リーダーシップ・スマースクール)、経済学部のオーストラリア海外研修とグローバル企業体感プログラムin上海、経営学部の海外ビジネスインターンシップin Baliの参加学生からの発表もあった。

学生たちは、現地で体験したことや、研修を通じて学んだ成果をパワーポイントにまとめ、わかりやすく発表した。この日は、摂大祭と教育懇談会が行われており、学長をはじめとした教職員だけでなく、父母や一般の方も聴講していた。



成果発表風景

● 交換留学生らが摂大祭に模擬店を出店 [10/8~10]

10月8日(土)~10日(月)に行われた摂大祭で、韓国・大田大学校、台湾・南台科技大学、台湾・大葉大学、中国・常州大学からの交換留学生とタイからの留学生9人が、留学生サポーターと一緒に韓国料理の屋台「韓COOK」を出店した。韓国でしか味わえない「チヂミ」や「サムギョプサル」を販売した。

韓国の味を出すのに苦労をしたものの、たくさんの人に食べてもらうことができ、留学生たちにとってこの経験は、留学生活において大変貴重な経験になった。



「韓COOK」の留学生とサポーター

■ 11月

● 留学生が啓光学園高校主催の「異文化交流会」に参加 [11/5]

11月5日(土)、本学で学ぶ留学生13人(中国5人、韓国3人、台湾3人、インドネシア1人、タイ1人)が、常翔啓光学園高等学校1年生477人を対象にした異文化理解の授業である「留学生交流会」に参加し、自国の文化・生活を紹介した。

このプログラムは、高校生が留学生の出身国の文化・生活・言語・宗教などについて理解を深め、多文化共生の視点を学ぶことを目的としており、今年で6年目を迎える。

留学生たちはこの日のために、パワーポイントを作成し、発表の練習に励んできた。大人数の高校生を前にした発表に少し緊張した面持ちであったが、それぞれの国の文化や生活、日本と異なる風習等をわかりやすく高校生に発表することができた。

体育館での全体発表の後は、12クラスに分かれて、それぞれのクラスで交流を深めた。



発表した留学生たち

● インドネシアの高校生が本学を見学 [11/21]

11月21日(月)、インドネシアのマタラム市第一国立高等学校から、高校生16人と引率教員1人が摂南大学を見学に来た。これは、同校の日本研修旅行の一環として、日本の大学への進学希望者がいるため、本学を訪問したもの。

見学会は、最初に外国語学部インドネシア・マレー語専攻の浦野教授から、インドネシア語で歓迎の挨拶と大学の紹介をしていただいた。その後、インドネシアからの留学生の理工学部都市環境工学科2年のハムダニ・シライト君、大学院国際言語文化研究科2年のリコ・フェルディナン君から、日本に留学しようと思ったきっかけ、日本語の勉強方法や、日本での生活について話をしてもらった。

生徒たちは、留学生の話を興味深く聞いており、日本への留学について、夢をふくらませていた。最後は、理工学部建築学科と機械工学科の実験を見学して終了した。



全員そろって記念撮影



出水さんと学園・摂南大関係者

● 「出水宏輝フラメンコソロリサイタル」を開催 [11/21]

11月21日(月)、プロのフラメンコダンサーとして活躍する外国語学部4年の出水宏輝君の初めてのソロリサイタル(石川敬子フラメンコ教室主催、摂南大学協賛)が、寝屋川市のアルカスホールで開かれた。350席余りのホールは満員で、久禮理事長や八木学長、今井前学長ら学園・摂南大関係者も多く訪れ、情熱的な舞台に魅了された。

出水君は小学生の時にフラメンコと出会い、中学2年でファロリートの芸名でプロデビュー。文部科学省の「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」の第1期生として、スペインに2014年9月から1年間留学し、スペイン語とフラメンコに磨きをかけた。特にフラメンコでは第一人者のファルキートに師事し愛弟子に。歌、ギター、打楽器、バイオリン、ベースの生の音楽と一体となった変化に富んだフラメンコの舞台に客席からの拍手が鳴りやまなかった。



鳥取砂丘で記念撮影

● 短期留学生が鳥取県へ見学旅行 [11/29~30]

11月29日(火)~30日(水)、本学で日本語を学んでいる短期留学生9人が、大阪大学が実施する見学旅行に他大学とともに参加し、鳥取県を訪れた。

1日目は、岡山県と鳥取県の県境にある鬼女台展望台で蒜山高原の景色や町並みを眺めた。その後、大山の中腹にある古刹、大山寺と大神山神社を散策、参拝した。この日は羽合温泉の旅館に宿泊し、他大学の留学生との交流を深めた。旅館では、夜だけでなく早朝から露天風呂や大浴場の温泉を堪能する学生もいた。

2日目は倉吉市内へと向かった。玉川沿いの伝統的建造物群保存地区を中心に散策し、白壁と石州瓦が特徴の町並みの写真を撮ったり、町家でのお土産を見たり買ったりした。午後からは、鳥取砂丘を散策し、砂丘が想像以上に大きいことに驚くとともに、日本海の景色にも感動したようだ。

12月

グローバルFD・SDフォーラムを実施 12/8

12月8日(木)、摂南大学グローバルFD・SDフォーラムを図書館ラーニング・コモンズで実施した。第1部では、THE世界大学ランキング(日本版)の日本側代理人である株式会社進研アド、グローバル企画室長横山俊介氏を講師に招き、大学を取り巻くグローバル化の状況について講演いただいた。講演の中で横山氏は様々な事例を紹介される中で、大学のグローバル化の実現にとって最も重要なことは、「DP・CP・APの一貫性とガバナンスである」と強調された。

第2部では、外国語学部の齋藤教授より、英語による授業の教授法の紹介について講演があり、総合大学である本学だからこそ実施可能な学部横断型の英語を教授言語にした授業案の紹介等があった。



講演する進研アドの担当者

日本語スピーチコンテストを寝屋川市国際交流協会と共に実施 12/17

12月17日(土)14時から、寝屋川市立市民会館で、「留学生・在住外国人との楽しい交流」というイベントに、本学留学生が参加した。これは、寝屋川市国際交流協会と摂南大学が共催で実施したもの。

当日は、本学留学生のリコ・フェルディナン君(国際言語文化研究科2年)が司会を務め、寝屋川市在住の外国人や本学短期留学生などが、日本語で「日本で見つけたひそかな楽しみ」をテーマにそれぞれ体験をスピーチした。惜しくも本学の留学生は優勝を逃した。

その後、ジャワ舞踊家の富岡三智さんのジャワ舞踊を鑑賞し、その舞に感動していた。

最後は、参加した外国人・留学生、交流協会のスタッフと本学教職員で、インドネシア料理を囲んで親睦を深めた。



参加した外国人・留学生・関係者

2017年1月以降の活動(ダイジェスト)

1月

ウインタープログラムに台湾の学生5人が参加 1/16~1/24

1月16日(月)、ウインタープログラムが始まった。

今年度は台湾・南台科技大学、台湾・中州科技大学から5人の学生が参加し、1月23日(月)までの1週間、国際交流センターで初歩の日本語や日本の文化を学んだ。

到着日には、外国語学部中国語コース主催のもちつきパーティーに参加し、中国語コースの学生たちと交流した。

20日(金)には、宇治に校外研修に出かけた。世界遺産の平等院を見学し、茶道体験もした。初めての体験に戸惑ったようだった。

23日(月)に修了式を終え、24日(火)には帰国の途に着いた。



日本の歌を合唱する留学生たち

2月

交換留学生らの修了式を開催 2/7

2月7日(火)、1年間または半年間、摂南大学で留学生活を送った交換留学生らが修了式を迎えた。

この日の修了者は、韓国・大田大学校が3人、中国・常州大学が3人、台湾・大葉大学が1人、タイ・泰日工業大学の卒業生が1人、台湾からの特別聴講生が1人である。

それぞれ、八木学長から修了証書を授与された。その後、留学生活を振り返って、感想を述べた。

また、留学生活の成果をポワーポイントなどを用いて、発表した。パワーポイントには日本の思い出の写真がたくさん写されていた。

修了式の後は、先生方や留学生サポーターと一緒にフェアウェルパーティーに参加し、最後まで名残惜しそうに、一緒に写真を撮ったりしていた。



修了証書を手に記念撮影

交換留学、春期海外派遣プログラム、UNGL サイパンの結団式を実施 2/14

2月14日(火)、交換留学、春期海外派遣プログラム・UNGL サイパンの結団式と懇談会を開催した。

参加者は、韓国・大田大学校への交換留学2人、台湾・淡江大学への文化体験プログラムが4人、フィリピン・セブ島のCDU ESLセンターへの語学研修プログラムが2人、UNGL(大学間連携共同教育推進事業)のリーダーシップ・チャレンジ in サイパンへのプログラムが9人であった。

それぞれのプログラムの代表者に参加許可証が授与され、参加者全員がプログラムにかける意気込みを決意表明した。



結団式に出席した参加学生と学長・教職員

国際交流センターのFacebookを開設

国際交流センターでは、国際交流や留学に关心のある人のコミュニティをつなぐため、フェイスブックを開設しています。皆さん、ぜひ当ページにアクセスし、「いいね！」をクリックして参加してください。
検索キーワードは「Setsunan University International Center」です。



留学生の方へ

向学心に燃え、勉学に励む外国人留学生のために、摂南大学では授業料減免制度や独自の奨学金制度を設けています。また、財団などの学外奨学金についても、国際交流センターが申請のお手伝いをしています。詳しくは、国際交流センターまでお問い合わせください。

◆外国人留学生授業料減免制度：

学部・大学院の正規課程に在籍する私費外国人留学生のうち一定の条件を満たす留学生には授業料を減免しています。

◆各種奨学金：

・外国人留学生学内奨学金：

学部・大学院の正規課程に在籍する外国人留学生のうち一定の条件を満たす留学生に摂南大学が提供する奨学金です。

・留学生受け入れ促進プログラム：

独立行政法人日本学生支援機構が給付する奨学金です。本学が日本学生支援機構に代わって選考し、推薦者を決定します。

◆その他民間団体の奨学金：(過去5年間の採択実績)

- ・岡畠清風奨学金（財団法人大阪国際交流センター奨学金）
- ・公益財団法人 大遊協国際交流・援助・研究会 奨学生
- ・株式会社 総合資格 総合資格学院奨学資金助成事業
- ・公益財団法人 朝鮮奨学会
- ・公益財団法人 西村奨学財団 奨学生
- ・公益財団法人 日本国際教育支援協会 JEES一般奨学会
- ・公益財団法人 平和中島財団 外国人留学生奨学生
- ・特例財団法人 安原記念福祉財団 奨学金
- ・財団法人 ロータリー米山記念奨学会

長期交換留学派遣について

本学の海外協定校で、学生の交換条件を明記している大学において、半年または1年間の留学をすることができます。この制度は、学籍上の取扱いは「休学」となりますが、留学先での授業料が免除され、交換留学生としてのさまざまな特典を享受できます。また、学部の授業科目を聴講し、本学設置科目との関連性が認められる場合、最大30単位まで卒業単位に含めることができます(言語コースは対象外)。

2017年度は、韓国・大田大学校の派遣者は決定しましたが、台湾・南台科技大学の派遣者と台湾・大葉大学への交換留学(9月開始)希望者を募集しています。詳しくは、国際交流センターにお問い合わせください。

■交換留学が可能な大学

	国	留学先大学	派遣人数	学事暦	学内応募〆	条件		
						学費	宿舎	語学力
1	韓国	大田大学校 韓国語教育院	3人 ※学園3大学の 人数	春学期 3月スタート	10月31日	免除	免除	問わない
2		大田大学校 (学部留学)					TOPIK3級以上。 [*] 英語コース受講の 場合、TOEIC730点以上が望ましい	
3	台湾	南台科技大学 中国語センター	2人	秋学期 9月スタート	5月9日	免除	NT\$12,500～ \$33,200/18週 (日本円で5万～13万)	問わない
4		南台科技大学 (学部留学)					HSK6級以上。 [*] 英語コース受講の 場合、TOEIC730点以上が望ましい	
5		大葉大学 中国語センター	2人	秋学期 9月スタート	5月9日		NT\$21,500～ NT\$28,700/年 (日本円8.6万～11.5万)	問わない
6		大葉大学 (学部留学・日本語学科)					HSK4級(中検3級)以上	

*英語コースは「Courses taught in English」のこと、受入先の言語力がない場合でも、英語で受講可能なクラスが開設されていることを示す。非英語圏の大学へ留学する場合は、その国・地域の大学レベルの言語をマスターしていない場合は、英語コースが開設されている大学への派遣に限定される。

キャンパスで国際交流

国際交流センターでは、留学生との交流グループ「留学生サポーター」に参加する学生を募集しています。留学生サポーターの活動は、主に交換留学生の生活支援(寮周辺・通学路・キャンパスの案内、役所・銀行などへの書類手続きの補助など)、校外研修などの引率や、課題の相談に乗るなどの学習面でのサポート、さらに留学生のためのレクリエーションや、交流会などのイベントの企画などさまざまです。留学生サポーターの活動を通じて、日本にいながら国際交流の機会が得られ国際性を養うことができます。留学生と築いた友情は、かけがえのない財産になるでしょう。対象は以下の通りです。参加を希望する学生は、国際交流センターまでご連絡ください。

- ・留学生との交流に興味がある人
- ・海外に興味がある人
- ・海外に友達をつくりたい人 など

国際交流 Newsletter Spring 2017 (第5号)

発行日：2017年3月

発行：摂南大学 国際交流センター(寝屋川キャンパス3号館4階)

連絡先：Tel : 072-839-9432(開室時間：月～金9：00～18：30 土9：00～17：00)

E-mail : SETSUNAN.Kokusai@josho.ac.jp

Facebook検索：[Setsunan University International Center]